

東九州道(蒲江IC^{かまえ}～延岡JCT^{のべおか}間)の 部分開通による整備効果について

国土交通省九州地方整備局が整備を行っている東九州道のうち平成 25 年 2 月
に開通した蒲江^{かまえ}～北浦^{きたうら}間、平成 24 年 12 月開通の須美江^{すみえ}～延岡^{のべおか}JCT間の開通後
整備効果についてお知らせします。

【開通後の主な整備効果】

○観光への支援

県境を越えた交流が活発になっており、**観光客が約 4 割増加！**
しています。

○医療への支援

救急搬送時における**患者の負担軽減など救急活動を支援！**
しています。

○産業への支援

事例① **水産業の仕入れ環境が改善！**しています。

事例② **菊搬送の利便性が向上！**しています。

※今後「北浦－須美江」「佐伯－蒲江」の開通が控えており、その整備効果
についてお知らせしていく予定です。

お問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省 九州地方整備局
佐伯河川国道事務所

Tel : 0972-22-1880

副所長(道路) 浅井 博海 (内線 205)
調査第二課長 次郎丸 敬太(内線 451)

国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所

Tel : 0982-31-1155

副所長(道路) 中川 英一 (内線 205)
調査第二課長 渡邊 賢一 (内線 451)

開通区間の概要

位置図



注) ・須美江インターチェンジと門川インターチェンジは、延岡方面への入口及び延岡方面からの出口専用。
・括弧内の年度は公表されている開通目標年度



▲蒲江波当津 IC の状況



▲北川 IC～延岡 JCT・IC の状況

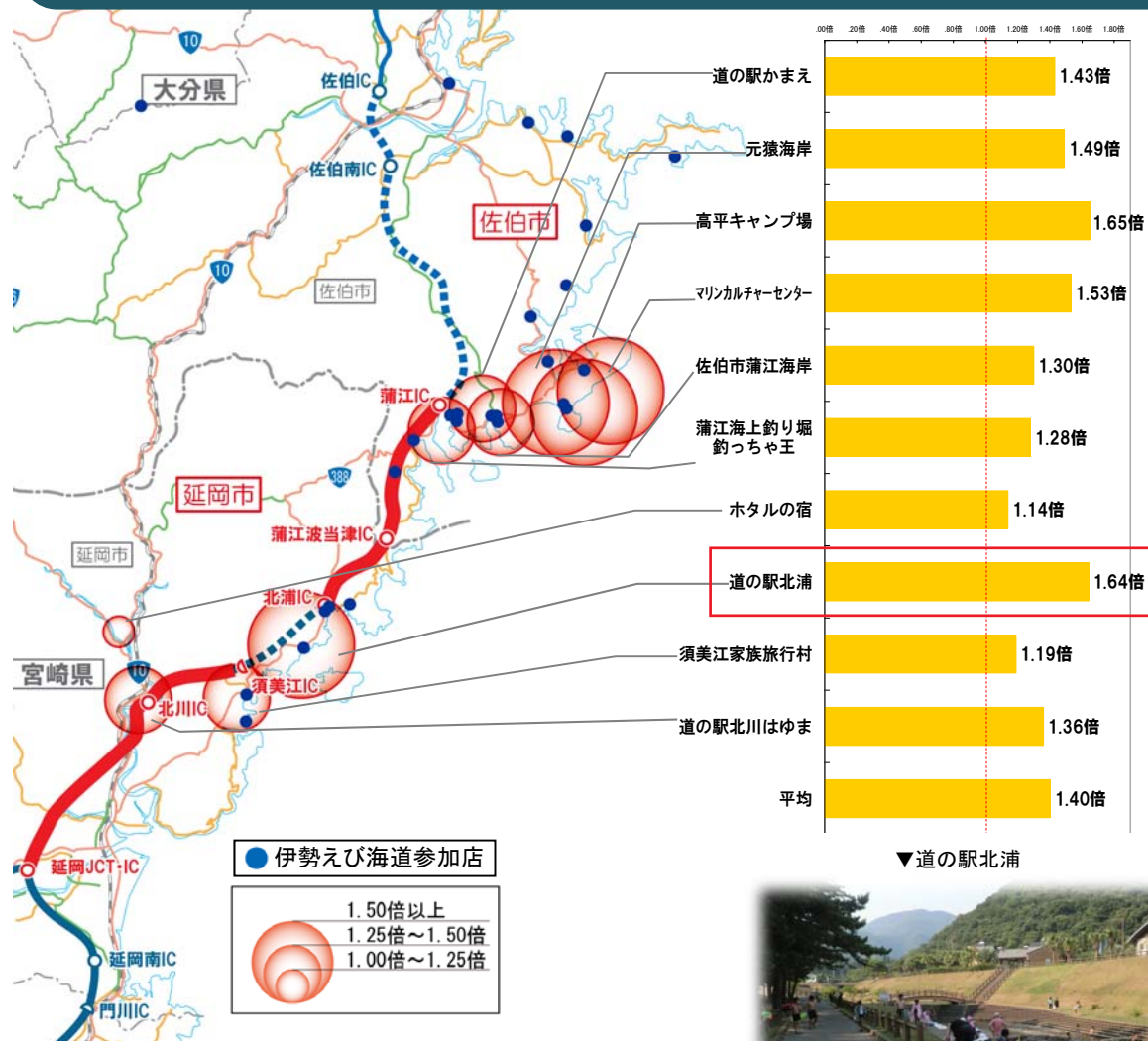


観光への支援

県境を越えた交流が活発になっており、**観光客が約4割増加！**しています。

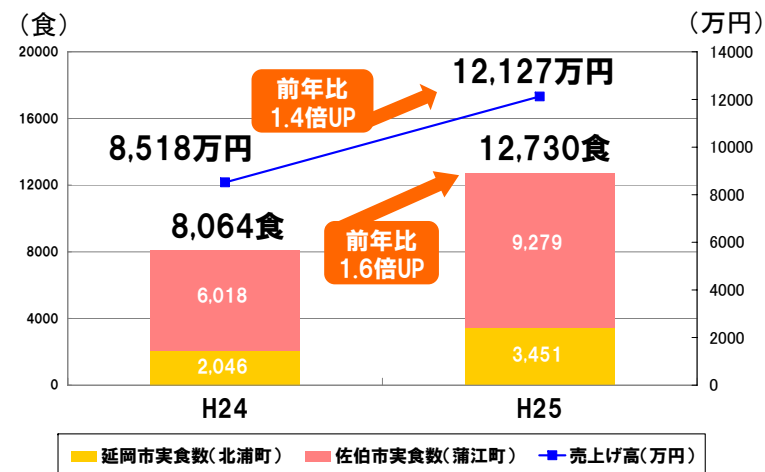
- 沿線の観光施設の**観光客が約4割増加**しています。
- 県境を越えて、佐伯・延岡両市で取り組んでいる「東九州伊勢えび海道事業」の**実食数も過去最高**になりました。

沿線の観光施設の入込み客が大幅に増加！



▲主要観光施設の入込み客数の伸び率(東九州道開通前後)
出典:佐伯市観光課、延岡市観光課提供データ
開通前:H24.1～12月 開通後:H25.1～12月

東九州伊勢えび海道の実食数は前年比1.6倍！過去最高に！



▲東九州伊勢えび海道の実食数・売上げ高
出典:佐伯市観光協会、延岡観光協会



▲東九州伊勢えび海道10周年感謝祭の様子
(H25.9.7:佐伯市蒲江の県漁協蒲江支店荷さばき所)

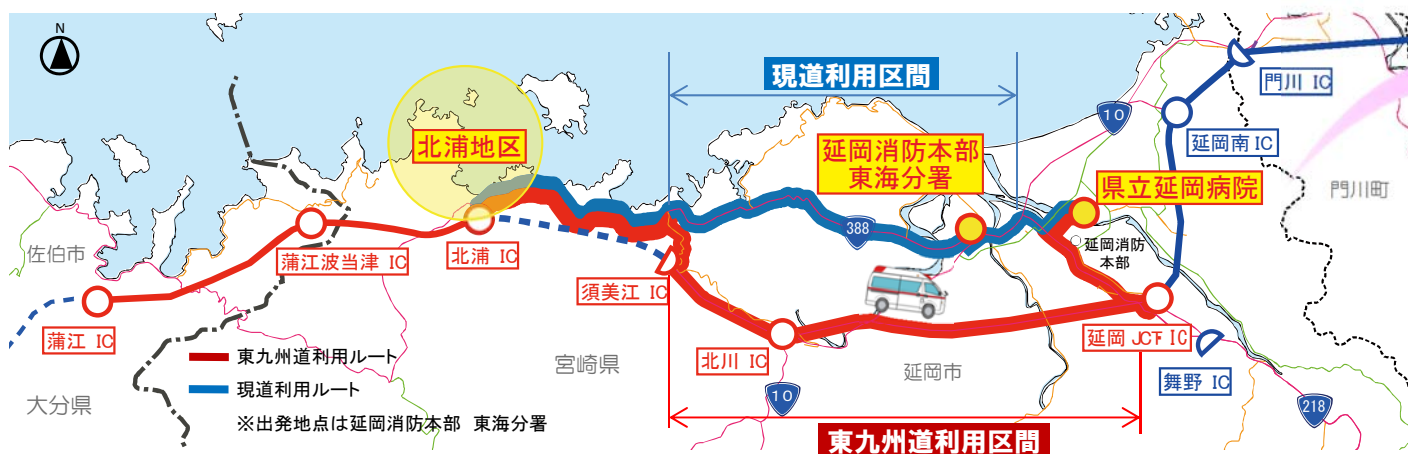
医療への支援

救急搬送時における**患者の負担軽減**など救急活動を支援！しています。

➡ 東九州道を利用することで**患者への負担が軽減され、救急隊員の円滑な活動にも寄与**しています。

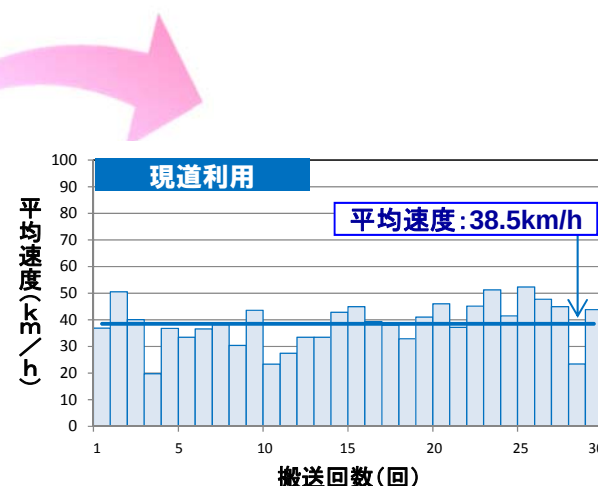
患者の負担軽減を支援する東九州道！

■ 東九州道利用による走行速度は現道利用時の**約2倍**（東九州道利用区間：約74km/h、現道利用区間：約39km/h）。



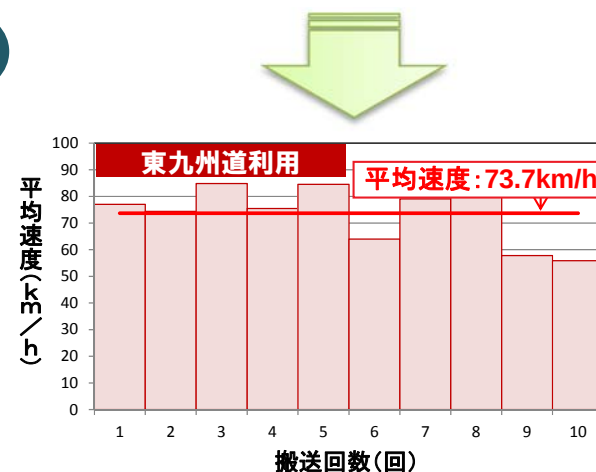
▲北浦地区～県立延岡病院 搬送ルート

資料：救急車プローブ調査結果(H25.8.9～8.26)



救急隊員が開通後1年間で感じた東九州道の整備効果(延岡市消防本部へのヒアリング調査より)

開通前	開通後
脳疾患患者においては車の横揺れにより嘔吐し、容態が悪化することがありました。	直線で起伏の少ない東九州道を利用することで患者への負担が大幅に軽減し、容態を悪化させる患者はいなくなりました。
交差点や歩行者・自転車が走行している場合は交通事故の危険性があるため、低速走行を余儀なくされていました。	平面交差点がなく、歩行者・自転車のいない東九州道は交通事故の危険性が低く、搬送時の走行速度も向上しています。
救急隊員は交通事故の防止など患者への観察以外にも意識を集中するなどストレスを抱えながら、救急活動に従事していました。	平面交差点がなく、歩行者や自転車の流入もないことからストレスが軽減され、救急搬送時の緊急走行や患者の観察に関する意識に集中できるようになりました。
北浦地区へ向かうには国道388号のみとなり、事故発生時には渋滞に巻き込まれるなど救急搬送が遅延することもありました。	北浦地区の搬送時に東九州道経由のルートが追加され、事故発生時などの渋滞を回避して搬送できるようになりました。



▲北浦地区～県立延岡病院間 搬送時走行速度

- ➡ 当該区間開通後、水産品の輸送時間が約30分短縮し、水産品の仕入れ環境が改善されています。
- ➡ 延岡市内加工会社の搬送コスト低減や水産品の取扱量増加に寄与しています。

蒲江漁港、北浦漁港からの水産品の仕入れ環境が改善！

- 延岡市の水産会社が、当該区間開通後、延岡市内の自社荷卸場に加工工場を設置
- 東九州道利用により、蒲江漁港から加工工場（荷卸場）間のトラックの移動時間が約30分短縮するとともに、定時性を確保
- 北浦漁協での作業時間が確保でき、余裕ある仕入れを実現



開通後、搬送コスト低減、水産品の取扱量が増加！

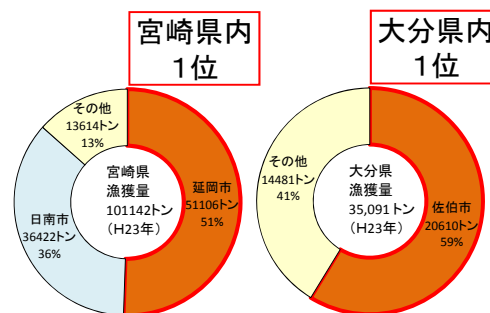
- 延岡市内加工会社の搬送コストが低減
- 延岡市内加工会社の仕入れ環境が改善し、取扱量が増加

・東九州道開通後、**搬送コストカット**や**北浦漁港や蒲江漁港からの仕入れの作業時間に余裕が生まれ、取扱量が増加**するなど変化がありました。



【参考】水産業が盛んな延岡市・佐伯市

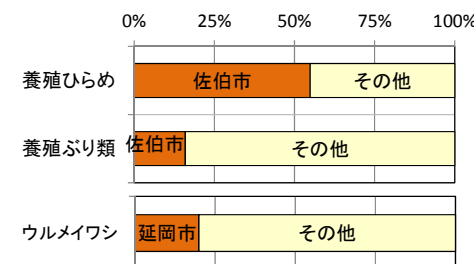
- 延岡市、佐伯市は両県の中で最も水産業が盛んな地域
- 全国上位の水産品や県のブランド水産品が存在



▲市町村別水揚量（左：宮崎県、右：大分県）

出典：H23海面漁業生産統計調査

日本一のシェアを誇る水産品



▲全国市町村別魚種別水揚量

出典：H23海面漁業生産統計調査

宮崎県ブランド水産品



- 👉 走りにくかった搬送ルートがスムーズになったことで、**出荷時間の短縮や商品品質が向上**しています。
- 👉 佐伯市の主要品目である菊は、全国各地へ出荷されており、**高速道路延伸によりさらなる飛躍が期待**されています。

走りにくかった菊の搬送ルートが早く、スムーズに！



▲開通前の搬送道路(県道古江丸市尾線)



菊生産者

- ・波当津地区から蒲江配送センターまで**毎日約8千本出荷**しています。
- ・往復約30分も時間短縮が図られ、大変便利になりました。



出荷時間の短縮や商品品質の向上などの効果が発現！

- ・波当津地区から蒲江地区までは道路が凸凹で**段ボールが崩れ、菊が折れて商品にならないことが頻繁にありました**が、道路線形が良くなり荷痛みの心配もありません。
- ・東九州道ができて、荷痛みが解消されスムーズに時間通りに到着できるようになり、大変助かっています



菊生産者

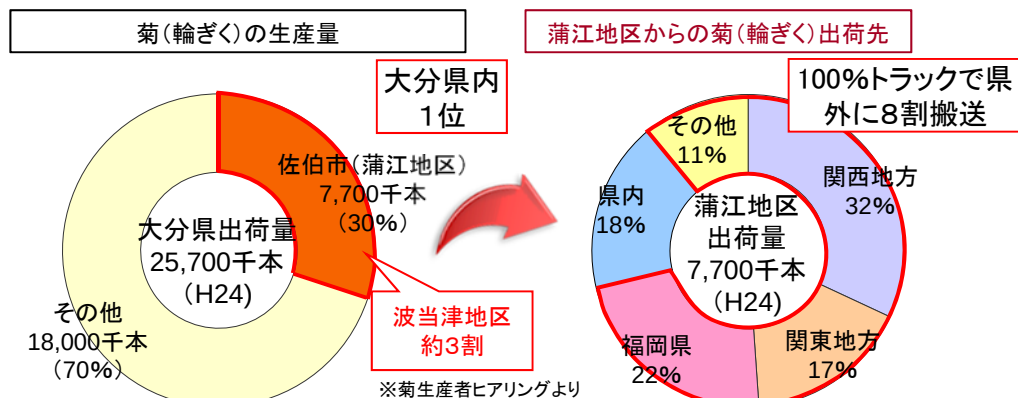
- ・東九州道が開通したことにより波当津から蒲江配送センターへの**出荷時間の短縮や輸送コストが低減**しています。
- ・全通すれば**時間短縮効果はさらに大きくなる**と期待しています。



JAおおい佐伯事業部

【参考】佐伯市から全国各地へ出荷される菊

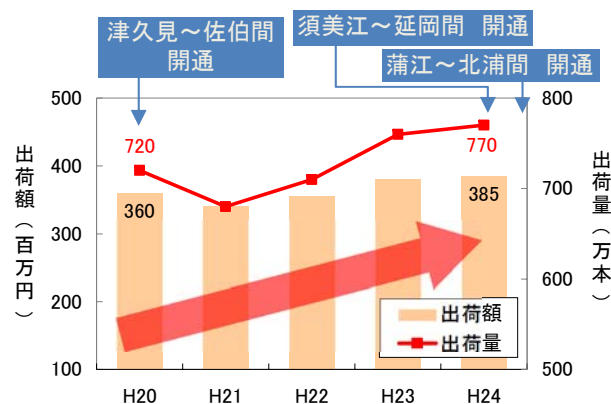
- 九州有数の菊生産地である佐伯市。ほぼ100%蒲江地区で栽培。
- 菊は関東・関西、福岡地方を中心に全体の約8割を県外へ出荷



▲菊の生産量と県内シェア
出典：作況調査(花き)、JAおおい佐伯地域事業所

▲菊の出荷先
出典：JAおおい佐伯地域事業部資料(H26.1)

【参考】地域の特産品である菊の出荷額・量が増加



出典：JAおおい佐伯事業部資料(H26.1)
※出荷額は菊の平均価格50円/本での試算値



- ・高速道路のさらなる延伸により、菊の出荷量拡大を期待

JAおおい本店職員

